

## ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間とクローズド期間	信託期間は2013年10月21日から2023年11月10日までです。クローズド期間はありません。なお、受益者に有利であると認めるときは、受託者と協議のうえ、信託期間を延長することができます。	
運用方針	主として、世界の投資適格格付けの公社債を主な投資対象とするベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド受益証券に投資を行い、インカム・ゲインの確保と信託財産の成長を目指します。また、マザーファンド受益証券を通じて、為替変動リスクのヘッジ目的および円ベースでの投資収益の確保を目的として、外国為替の予約取引を機動的に行います。 マザーファンドの運用にあたっては、ベアリング・アセット・マネジメント・リミテッド（英国法人）に運用指図に関する権限を委託しています。	
主要運用対象	BAMワールド・ボンド & カレンシー・ファンド（1年決算型）	ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ベアリング ワールド・ボンド & カレンシー・マザーファンド	世界の投資適格格付けの公社債を主要投資対象とします。
組入制限	BAMワールド・ボンド & カレンシー・ファンド（1年決算型）	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使により取得した株券に限るものとし、その実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ベアリング ワールド・ボンド & カレンシー・マザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使により取得した株券に限るものとし、その投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎年1回決算（原則として11月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日。）を行い、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、基準価額水準、市況動向等を勘案するとともに、信託財産の成長にも留意し、委託会社が分配金額を決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

# BARINGS

## 運用報告書（全体版）

### BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド （1年決算型） 〈愛称〉ウィンドミル1年

追加型投信／海外／債券

（決算日 2018年11月12日）

第6期

## 運用報告書に関する弊社お問い合わせ先

ベアリングス・ジャパン株式会社 営業本部

電話番号：03-4565-1040

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

※お客様の口座内容などに関するご照会は、お申込みされた販売会社にお尋ねください。

## ベアリングス・ジャパン株式会社

東京都中央区京橋二丁目2番1号 京橋エドグラン7階

<https://www.barings.com/jp/individual>

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド（1年決算型）」（愛称：ウィンドミル1年）は、2018年11月12日に第6期決算を行いました。ここに謹んで期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 目 次

BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド（1年決算型）〈愛称〉ウィンドミル1年の運用状況のご報告	
最近5期の運用実績	1
当期中の基準価額と市況等の推移	1
当期の運用経過	2
今後の運用方針	6
1万口当たりの費用明細	7
売買及び取引の状況	7
利害関係人との取引状況等	8
組入資産の明細	8
投資信託財産の構成	8
資産、負債、元本及び基準価額の状況	9
損益の状況	9
分配金のお知らせ	10
ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンドの運用状況のご報告	11

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 分 込 配 分 金 騰 落 率			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	分 金 騰 落 率			
	円		円		%	%	百万円
2期(2014年11月10日)	10,724		0		7.0	102.7	854
3期(2015年11月10日)	10,649		0		△0.7	98.1	4,204
4期(2016年11月10日)	10,800		0		1.4	98.7	11,994
5期(2017年11月10日)	10,464		0		△3.1	98.9	15,691
6期(2018年11月12日)	10,012		0		△4.3	99.7	14,658

(注1) 基準価額および分配金は1万口当たり。(以下同じ)

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注3) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。(以下同じ)

(注4) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率(=買建比率-売建比率)は、親投資信託への投資割合に応じて算出した当ファンドベースの比率です。(以下同じ)

(注5) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

(注6) 純資産総額の単位未満は切捨て。

(注7) 計理処理上、組入比率が100%を超える場合があります。(以下同じ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

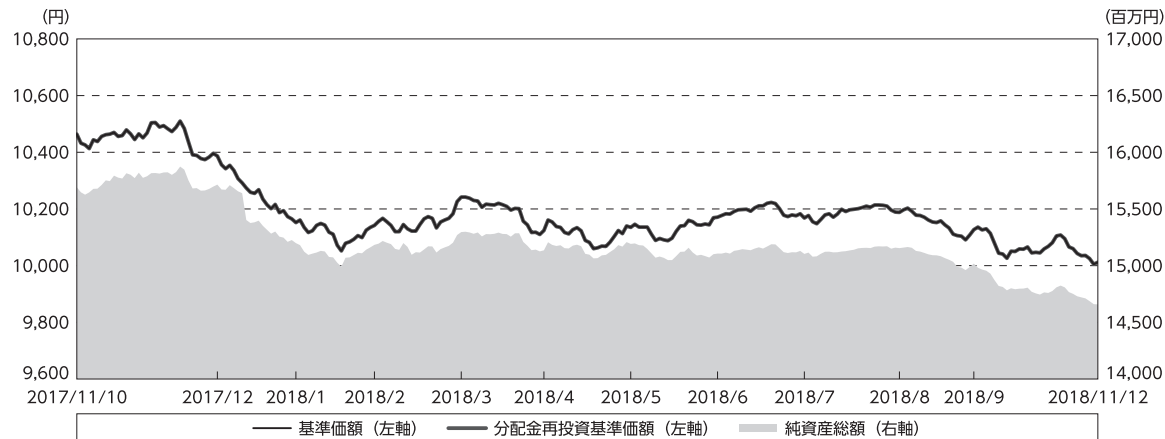
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		
		騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
(期 首)	円	%	%	%
2017年11月10日	10,464	—	98.9	—
11月末	10,465	0.0	96.5	—
12月末	10,387	△0.7	99.0	—
2018年1月末	10,152	△3.0	98.0	—
2月末	10,142	△3.1	95.9	—
3月末	10,242	△2.1	95.9	—
4月末	10,124	△3.2	99.3	—
5月末	10,135	△3.1	97.3	—
6月末	10,171	△2.8	96.5	—
7月末	10,168	△2.8	98.7	—
8月末	10,188	△2.6	98.1	—
9月末	10,127	△3.2	99.5	—
10月末	10,095	△3.5	98.4	—
(期 末)				
2018年11月12日	10,012	△4.3	99.7	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○当期の運用経過

(2017年11月11日～2018年11月12日)

■ 期中の基準価額等の推移



期首：10,464円  
 期末：10,012円（既払分配金：0円）  
 騰落率：△4.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2017年11月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 上記既払分配金は、期中の分配金（税込み）合計額です。

○基準価額の主な変動要因

主要投資対象である「ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド」における期中の基準価額は2.8%の下落となりました。

上昇要因

- 保有債券からの利息収入が、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

- 米国での金利上昇により保有していた債券の価格が下落したこと、為替ヘッジに伴うヘッジコスト等が基準価額の下落要因となりました。

## ■ 投資環境（2017年11月11日～2018年11月12日）

### ◎債券市場

当期前半は、地政学リスクや貿易摩擦に対する懸念などを背景に長期金利が低下する局面があったものの、米国の税制改革法案に伴う経済成長への期待、資源価格の上昇、米中の貿易摩擦に対する懸念が和らいだことなどを背景に、米欧の長期金利は上昇基調となりました。

当期後半は、米国では資源価格の上昇、底堅い景気回復等を背景とした利上げペースの加速観測を受け、長期金利は上昇基調で推移しました。期末にかけては、米国が利上げ停止に近づいたとの見方も台頭し、米国の長期金利は概ね横ばいでの推移となりました。欧州では、欧州中央銀行（ECB）理事会にて当面の金融緩和環境の維持が表明されたこと、イタリアの政治情勢の混乱を受け、ドイツ等の欧州長期金利は低下基調となりました。

当期の債券市場の動きを10年国債利回りでみると、米国では当期首の2.4%から当期末3.2%となり、ドイツでは0.4%から0.4%と、ほぼ横ばいとなりました。

### ◎為替市場

為替市場では、米当局者による米ドル安容認発言を受け、米ドル安が進行する局面があったものの、2018年4月以降、米国の底堅い景気回復等を受け、米ドル高が進行しました。欧州景気の減速懸念、イタリアの政治的不透明感を背景に、主要通貨に対して概ねユーロ安が進行しました。当期の米ドル・円相場は、当期首の113円前半から当期末の113円台後半に小幅な米ドル高・円安が進行しました。

## ■ 当ファンドのポートフォリオ（2017年11月11日～2018年11月12日）

<BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド（1年決算型）>

「ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド」を高位に組みました。

<ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド>

<デュレーション>

デュレーション\*については、欧州や中国を中心として景気減速の兆しが見られる中、利上げを進める米国で景気回復の勢いが維持できるか懸念が残ることに加え、地政学リスクが燻り続け、物価上昇圧力が弱い中、長期金利の上昇にも限界があるものと判断し、期初の段階ではポートフォリオ全体で約7.6年とし、期中も水準を維持し、期末時点では、約7.7年としました。

<国別配分>

米国への配分を大幅に削減し、中国の景気減速に伴い金融緩和の長期化が見込めるニュージーランド、ECBによる当面の金融緩和環境の維持が見込めるユーロ圏のほか、カナダ、英国、ポーランド、メキシコに入れ替えを実施し、ポートフォリオの分散を図りました。期末時点では、金融政策を睨み、米国、カナダでは短期と超長期、ニュージーランド、オーストラリアでは中長期を中心とした保有としました。新興国では、ポーランド、メキシコ中心の厳選配分としました。

<通貨別配分>

当期は、外貨全体の円に対する為替のヘッジ比率は為替変動リスクを低減するために期を通して高位に保ちつつも、円安が進んだ局面ではポートフォリオの対円での為替ヘッジ比率を高め、円高が進んだ局面ではポートフォリオの対円での為替ヘッジ比率を低下させました。また、円以外の通貨では、米ドル高・ユーロ安の進行に伴い米ドルの買い持ち幅を大幅に縮小、ユーロの売り持ち幅を大幅に縮小したほか、オーストラリアドルを売り持ちから買い持ちに転換、メキシコペソ、ポーランドズロチを中立から買い持ちに転換、英ポンドを買い持ちから売り持ちに転換しました。期末時点では、米ドル、オーストラリアドル、メキシコペソ、ポーランドズロチ等を買持ちとし、ユーロ等を売り持ちとしました。

\* 「金利変動に対する債券価格の感応度」を示すもので、デュレーションが大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

### 【組入債券の種別構成】

期末（2018年11月12日現在）

No.	種 別	比率 (%)
1	国債証券	38.6
2	地方債証券	37.3
3	特殊債券	16.6
4	普通社債券	6.3

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

### 【組入債券の通貨別構成上位5通貨】

期末（2018年11月12日現在）

No.	通 貨	比率 (%)
1	米ドル	24.5
2	ニュージーランドドル	15.2
3	オーストラリアドル	13.2
4	英ポンド	12.5
5	カナダドル	11.9

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

### 【組入債券の上位5銘柄】

期末（2018年11月12日現在）

No.	銘柄名	クーポン(%)	償還日	国(地域)	比率(%)
1	オーストラリア・クイーンズランド州財務公社債	6.5	2033年3月14日	オーストラリア	6.0
2	オーストラリア・ニューサウス・ウェールズ州財務公社債	6.0	2030年5月1日	オーストラリア	4.9
3	国際復興開発銀行債	7.625	2023年1月19日	国際機関	4.2
4	ポーランド国債	5.75	2029年4月25日	ポーランド	4.1
5	欧州投資銀行債	6.0	2028年12月7日	国際機関	4.0

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

## ■ 分配金（2017年11月11日～2018年11月12日）

基準価額の水準および市況動向等を勘案して収益分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第6期
	2017年11月11日～ 2018年11月12日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,660

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。小数点以下第4位を四捨五入して表示しています。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

<BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド（1年決算型）>

引き続き、「ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド」を高位に組入れて運用を行います。

<ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド>

米国の一部指標にも景気のピークアウトの兆しが見られ、これまでの米国での利上げの累積的な影響や貿易摩擦の世界経済に対する懸念から、2019年以降の米国の利上げ停止を債券市場が織り込む可能性も予想されます。また、中国景気の減速、一部新興国の信用不安の増大などへの警戒感も払拭できないことから、長期金利の上昇にも限界があるものと予想します。

国別では、米国、カナダ、ニュージーランドでは金融政策を睨んだ満期構成戦略を実施し、利上げ停止が視野に入り始めた米国の中長期ゾーンへの配分増を検討します。

通貨配分については、ポートフォリオの対円での為替ヘッジ比率は80%～100%を基本レンジとし、円高が進行した局面ではヘッジ比率を引き下げ、円安が進行した局面ではヘッジ比率の一段の引き上げを検討します。円以外の通貨の主要なポジションとしては、米国の景気回復の勢いが持続し、金利上昇と米ドル高が連動するシナリオに備え、米ドル等の買い持ちを維持する方針です。景気減速が示され、2019年夏の終わりまで利上げを行わないことが表明されたユーロの売り持ちポジションも維持する方針です。



○1万口当たりの費用明細

(2017年11月11日～2018年11月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 161	% 1.575	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 78 )	(0.760)	投信会社分は、ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 78 )	(0.760)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 6 )	(0.054)	受託会社分は、運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.045	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 4 )	(0.040)	保管費用は、資産を海外で保管する場合の費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1 )	(0.005)	監査費用は、ファンドの監査にかかる費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.000)	信託事務の処理に要する諸費用
合 計	166	1.620	
期中の平均基準価額は、10,199円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。なお、(b) その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 信託報酬および監査費用にかかる消費税は期末の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2017年11月11日～2018年11月12日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド	千口 2,670,551	千円 2,951,670	千口 3,214,545	千円 3,548,923

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2017年11月11日～2018年11月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年11月12日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド	14,076,672	13,532,678	14,779,038

(注) 単位未満は切捨て。

ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンドの運用報告書をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2018年11月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド	14,779,038	99.9
コール・ローン等、その他	19,736	0.1
投資信託財産総額	14,798,774	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(74,955,505千円)の投資信託財産総額(77,146,681千円)に対する比率は97.2%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=113.94円、1カナダドル=86.34円、1メキシコペソ=5.67円、1ユーロ=128.96円、1英ポンド=147.39円、1ポーランドズロチ=30.07円、1オーストラリアドル=82.29円、1ニュージーランドドル=76.74円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2018年11月12日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	14,798,774,335
ペアリングワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド(評価額)	14,779,038,587
未収入金	19,735,748
(B) 負債	140,179,059
未払解約金	19,735,748
未払信託報酬	120,053,859
その他未払費用	389,452
(C) 純資産総額(A-B)	14,658,595,276
元本	14,641,346,638
次期繰越損益金	17,248,638
(D) 受益権総口数	14,641,346,638口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,012円

(注) 期首元本額	14,995,095,952円
期中追加設定元本額	2,885,195,439円
期中一部解約元本額	3,238,944,753円

## ○損益の状況（2017年11月11日～2018年11月12日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△ 360,341,227
売買益	32,550,782
売買損	△ 392,892,009
(B) 信託報酬等	△ 240,358,227
(C) 当期損益金(A+B)	△ 600,699,454
(D) 前期繰越損益金	△ 403,601,850
(E) 追加信託差損益金	1,021,549,942
(配当等相当額)	( 1,221,073,379)
(売買損益相当額)	(△ 199,523,437)
(F) 計(C+D+E)	17,248,638
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	17,248,638
追加信託差損益金	1,021,549,942
(配当等相当額)	( 1,228,272,879)
(売買損益相当額)	(△ 206,722,937)
分配準備積立金	1,202,225,829
繰越損益金	△2,206,527,133

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 当期における親投資信託の投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託するために要する費用(投資顧問料)として委託者報酬の中から支弁している額は、25,460,587円です。

(注5) 分配金の計算過程 (単位:円)

	当 期
(a) 配当等収益(費用控除後)	535,632,879
(b) 有価証券売買等損益(費用控除後)	0
(c) 収益調整金	1,228,272,879
(d) 分配準備積立金	666,592,950
分配可能額(a+b+c+d)	2,430,498,708
(1万口当たり)	1,660
収益分配金額	0
(1万口当たり)	0

## ○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

### 収益分配金の支払いについて

- ・収益分配金は、取扱販売会社において決算日から起算して5営業日までに支払いを開始いたします。

### 収益分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金は、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」の区分があり、分配後の基準価額が個々の受益者の個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個々の受益者の個別元本を下回る場合は、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

### 普通分配金ならびに換金時（解約）および償還時の差益（譲渡益）に対する税率について

2013年1月1日から2037年12月31日までの間、所得税の額に対し2.1%の金額が復興特別所得税として徴収されます。

#### 個人の受益者

2014年1月1日から2037年12月31日までについては20.315%（所得税、復興特別所得税および地方税）となります。

※個人の受益者が有する当該受益権のうち、NISA（ニーサ、少額投資非課税制度）、ジュニアNISA（ジュニアニーサ、未成年者少額投資非課税制度）の適用を受けているものについては非課税となります。

#### 法人の受益者

2014年1月1日から2037年12月31日までについては15.315%（所得税および復興特別所得税（地方税は課せられません））となります。

※税法が改正された場合等には上記内容が変更になる場合があります。

※課税上の取扱いの詳細については、販売会社・税務署等にお問い合わせください。

運用報告書

ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド

第6期（決算日 2018年11月12日）

「ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド」は、2018年11月12日に第6期の決算を行いました。  
ここに当マザーファンドの第6期の運用状況をご報告申し上げます。

ベアリングス・ジャパン株式会社

東京都中央区京橋二丁目2番1号 京橋エドグラン7階  
<https://www.barings.com/jp/individual>

★当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は2013年10月15日から無期限です。
運用方針	インカム・ゲインの確保とともに信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	世界の投資適格格付けの公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は転換社債の転換および新株予約権の行使より取得した株券に限るものとし、その投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		騰落	騰落率			
	円		%	%	%	百万円
2期(2014年11月10日)	10,982		8.6	102.3	—	87,332
3期(2015年11月10日)	11,080		0.9	97.5	—	89,919
4期(2016年11月10日)	11,414		3.0	98.1	—	120,222
5期(2017年11月10日)	11,234		△1.6	98.1	—	103,446
6期(2018年11月12日)	10,921		△2.8	98.9	—	74,163

(注1) 基準価額は1万円当たり。(以下同じ)

(注2) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。(以下同じ)

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。(以下同じ)

(注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

(注5) 純資産総額の単位未満は切捨て。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		債 組	入 比	券 率	債 先	物 比	券 率
				騰	落						
	(期 首)		円		%			%			%
	2017年11月10日		11,234		—			98.1			—
	11月末		11,244		0.1			96.5			—
	12月末		11,175		△0.5			98.8			—
	2018年1月末		10,938		△2.6			97.6			—
	2月末		10,940		△2.6			95.4			—
	3月末		11,062		△1.5			95.4			—
	4月末		10,948		△2.5			98.6			—
	5月末		10,976		△2.3			97.3			—
	6月末		11,029		△1.8			96.3			—
	7月末		11,041		△1.7			98.3			—
	8月末		11,077		△1.4			97.6			—
	9月末		11,025		△1.9			98.9			—
	10月末		11,005		△2.0			97.6			—
	(期 末)										
	2018年11月12日		10,921		△2.8			98.9			—

(注) 騰落率は期首比です。

## ■ 当期の運用経過（2017年11月11日～2018年11月12日）

### ○ 基準価額の主な変動要因

期中の基準価額は2.8%の下落となりました。

#### 上昇要因

■ 保有債券からの利息収入が、基準価額の上昇要因となりました。

#### 下落要因

■ 米国での金利上昇により保有していた債券の価格が下落したこと、為替ヘッジに伴うヘッジコスト等が基準価額の下落要因となりました。



## ■ 投資環境（2017年11月11日～2018年11月12日）

### ◎ 債券市場

当期前半は、地政学リスクや貿易摩擦に対する懸念などを背景に長期金利が低下する局面があったものの、米国の税制改革法案に伴う経済成長への期待、資源価格の上昇、米中の貿易摩擦に対する懸念が和らいだことなどを背景に、米欧の長期金利は上昇基調となりました。

当期後半は、米国では資源価格の上昇、底堅い景気回復等を背景とした利上げペースの加速観測を受け、長期金利は上昇基調で推移しました。期末にかけては、米国が利上げ停止に近づいたとの見方も台頭し、米国の長期金利は概ね横ばいでの推移となりました。欧州では、欧州中央銀行（ECB）理事会にて当面の金融緩和環境の維持が表明されたこと、イタリアの政治情勢の混乱を受け、ドイツ等の欧州長期金利は低下基調となりました。

当期の債券市場の動きを10年国債利回りで見ると、米国では当期首の2.4%から当期末3.2%となり、ドイツでは0.4%から0.4%と、ほぼ横ばいとなりました。

### ◎ 為替市場

為替市場では、米当局者による米ドル安容認発言を受け、米ドル安が進行する局面があったものの、2018年4月以降、米国の底堅い景気回復等を受け、米ドル高が進行しました。欧州景気の減速懸念、イタリアの政治的不透明感を背景に、主要通貨に対して概ねユーロ安が進行しました。当期の米ドル・円相場は、当期首の113円台前半から当期末の113円台後半に小幅な米ドル高・円安が進行しました。

## ■ 当ファンドのポートフォリオ（2017年11月11日～2018年11月12日）

### <デュレーション>

デュレーション\*については、欧州や中国を中心として景気減速の兆しが見られる中、利上げを進める米国で景気回復の勢いが維持できるか懸念が残ることに加え、地政学リスクが熾り続け、物価上昇圧力が弱い中、長期金利の上昇にも限界があるものと判断し、期初の段階ではポートフォリオ全体で約7.6年とし、期中も水準を維持し、期末時点では、約7.7年としました。

### <国別配分>

米国への配分を大幅に削減し、中国の景気減速に伴い金融緩和の長期化が見込めるニュージーランド、ECBによる当面の金融緩和環境の維持が見込めるユーロ圏のほか、カナダ、英国、ポーランド、メキシコに入れ替えを実施し、ポートフォリオの分散を図りました。期末時点では、金融政策を睨み、米国、カナダでは短期と超長期、ニュージーランド、オーストラリアでは中長期を中心とした保有としました。新興国では、ポーランド、メキシコ中心の厳選配分としました。

### <通貨別配分>

当期は、外貨全体の円に対する為替のヘッジ比率は為替変動リスクを低減するために期を通して高位に保ちつつも、円安が進んだ局面ではポートフォリオの対円での為替ヘッジ比率を高め、円高が進んだ局面ではポートフォリオの対円での為替ヘッジ比率を低下させました。また、円以外の通貨では、米ドル高・ユーロ安の進行に伴い米ドルの買い持ち幅を大幅に縮小、ユーロの売り持ち幅を大幅に縮小したほか、オーストラリアドルを売り持ちから買い持ちに転換、メキシコペソ、ポーランドズロチを中立から買い持ちに転換、英ポンドを買い持ちから売り持ちに転換しました。期末時点では、米ドル、オーストラリアドル、メキシコペソ、ポーランドズロチ等を買持ちとし、ユーロ等を売り持ちとしました。

\* 「金利変動に対する債券価格の感応度」を示すもので、デュレーションが大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。



## 【組入債券の種別構成】

期末（2018年11月12日現在）

No.	種 別	比率 (%)
1	国債証券	38.6
2	地方債証券	37.3
3	特殊債券	16.6
4	普通社債券	6.3

※比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## 【組入債券の通貨別構成上位5通貨】

期末（2018年11月12日現在）

No.	通 貨	比率 (%)
1	米ドル	24.5
2	ニュージーランドドル	15.2
3	オーストラリアドル	13.2
4	英ポンド	12.5
5	カナダドル	11.9

※比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## 【組入債券の上位5銘柄】

期末（2018年11月12日現在）

No.	銘柄名	クーポン(%)	償還日	国(地域)	比率(%)
1	オーストラリア・クイーンズランド州財務公社債	6.5	2033年3月14日	オーストラリア	6.0
2	オーストラリア・ニューサウス・ウェールズ州財務公社債	6.0	2030年5月1日	オーストラリア	4.9
3	国際復興開発銀行債	7.625	2023年1月19日	国際機関	4.2
4	ポーランド国債	5.75	2029年4月25日	ポーランド	4.1
5	欧州投資銀行債	6.0	2028年12月7日	国際機関	4.0

※比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## ■ 今後の運用方針

米国の一部指標にも景気のピークアウトの兆しが見られ、これまでの米国での利上げの累積的な影響や貿易摩擦の世界経済に対する懸念から、2019年以降の米国の利上げ停止を債券市場が織り込む可能性も予想されます。また、中国景気の減速、一部新興国の信用不安の増大などへの警戒感も払拭できないことから、長期金利の上昇にも限界があるものと予想します。

国別では、米国、カナダ、ニュージーランドでは金融政策を睨んだ満期構成戦略を実施し、利上げ停止が視野に入り始めた米国の中長期ゾーンへの配分増を検討します。

通貨配分については、ポートフォリオの対円での為替ヘッジ比率は80%~100%を基本レンジとし、円高が進行した局面ではヘッジ比率を引き下げ、円安が進行した局面ではヘッジ比率の一段の引き上げを検討します。円以外の通貨の主要なポジションとしては、米国の景気回復の勢いが持続し、金利上昇と米ドル高が連動するシナリオに備え、米ドル等の買い持ちを維持する方針です。景気減速が示され、2019年夏の終わりまで利上げを行わないことが表明されたユーロの売り持ちポジションも維持する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年11月11日～2018年11月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 4	% 0.039	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.039)	保管費用は、資産を海外で保管する場合の費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要する諸費用
合 計	4	0.039	
期中の平均基準価額は、11,038円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2017年11月11日～2018年11月12日)

公社債

			買付額	売付額	
外	アメリカ	国債証券	千米ドル 177,215	千米ドル 288,587	
		地方債証券	1,141	61,465	
		特殊債券	—	73,547	
		社債券 (投資法人債券を含む)	—	16,196 ( 3,000)	
	カナダ			千カナダドル	千カナダドル
		地方債証券	43,669	26,617	
		特殊債券	23,083	12,759	
	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 779,685	千メキシコペソ 314,567	
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ	
	イタリ	イタリア	国債証券	5,987	5,946
		フランス	国債証券	16,043	6,551
		スペイン	国債証券	87,984	48,931
		オーストリア	国債証券	6,052	5,957
		アイルランド	国債証券	6,640	6,612
		アメリカ	社債券 (投資法人債券を含む)	—	3,937
		イギリス			千英ポンド
	国債証券		47,077	37,568	
	特殊債券		10,361	5,012	
	ポーランド			千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ
		国債証券	88,068	38,224	
オーストラ			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	
	国債証券	4,160	2,519		
	地方債証券	22,381	67,498		
ニュージー			千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	
	国債証券	53,494	59,833		
	地方債証券	41,719	11,002		
南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド —	千南アフリカランド 99,242		

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ( )内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 社債券 (投資法人債券を含む) には新株予約権付社債 (転換社債) は含まれておりません。

(注5) 特殊債券は「当期の運用経過」において国際機関債等として記載することがあります。(以下同じ)

○利害関係人との取引状況等

(2017年11月11日～2018年11月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年11月12日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末								
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満	
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%	
アメリカ	132,466	159,628	18,188,052	24.5	—	15.1	9.0	0.4	
	千カナダドル	千カナダドル							
カナダ	80,958	102,039	8,810,049	11.9	—	8.1	2.7	1.1	
	千メキシコペソ	千メキシコペソ							
メキシコ	800,000	894,488	5,071,749	6.8	—	4.4	0.9	1.5	
	千ユーロ	千ユーロ							
ユーロ	フランス	5,820	9,390	1,211,007	1.6	—	1.6	—	—
	スペイン	26,950	38,154	4,920,431	6.6	—	6.6	—	—
	千英ポンド	千英ポンド							
イギリス	46,279	63,069	9,295,876	12.5	—	11.9	0.6	—	
	千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ							
ポーランド	132,000	156,649	4,710,459	6.4	—	4.1	2.3	—	
	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル							
オーストラリア	93,248	119,205	9,809,446	13.2	—	13.0	0.2	0.1	
	千ニューージーランドドル	千ニューージーランドドル							
ニューージーランド	139,037	147,276	11,301,976	15.2	—	9.8	5.4	—	
合 計	—	—	73,319,049	98.9	—	74.7	21.2	3.0	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切捨て。

(注4) ー印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当期末					
		利率	額面金額	評価額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
		%	千米ドル	千米ドル	千円		
アメリカ	国債証券	BELGIUM 8.875% 01DEC24	8.875	5,000	6,351	723,716	2024/12/1
		INDONESIA 5.950% 08JAN46	5.95	1,000	1,053	119,990	2046/1/8
		MEXICO 3.625% 15MAR22	3.625	240	235	26,867	2022/3/15
		PANAMA 5.20% 30JAN20	5.2	2,300	2,351	267,892	2020/1/30
		PANAMA 6.7% 26JAN36	6.7	3,000	3,614	411,807	2036/1/26
		PERU 8.75% 21NOV33	8.75	8,500	12,192	1,389,249	2033/11/21
		PHILIPPINES 6.375% 23OCT34	6.375	1,000	1,220	139,006	2034/10/23
		US TRSY 6.125% 15AUG29	6.125	13,000	16,420	1,870,966	2029/8/15
		US TRSY 4.50% 15FEB36	4.5	5,000	5,810	662,053	2036/2/15
		US TRSY 4.75% 15FEB41	4.75	5,000	6,087	693,609	2041/2/15
		US TRSY 6.375% 15AUG27	6.375	1,000	1,244	141,801	2027/8/15
		US TRSY 6.625% 15FEB27	6.625	1,000	1,252	142,745	2027/2/15
		US TRSY 6.75% 15AUG26	6.75	170	212	24,192	2026/8/15
		US TRSY 7.125% 15FEB23	7.125	333	387	44,110	2023/2/15
	US TRSY 7.625% 15FEB25	7.625	500	628	71,604	2025/2/15	
	US TRSY 8.75% 15AUG20	8.75	200	219	25,056	2020/8/15	
	地方債証券	NOVA SCOTIA 8.25% 30JUL22	8.25	5,000	5,809	661,900	2022/7/30
		QUEBEC 7.125% 09FEB24	7.125	1,000	1,160	132,272	2024/2/9
		QUEBEC 7.50% 15JUL23	7.5	11,600	13,491	1,537,273	2023/7/15
		QUEBEC 7.50% 15SEP29	7.5	5,100	6,801	774,946	2029/9/15
		SASKATCHWN 9.375% 15DEC20	9.375	6,000	6,697	763,167	2020/12/15
	TOKYO 3.25% 01JUN23	3.25	540	533	60,782	2023/6/1	
	特殊債券 (除く金融債)	ASIAN DEV BK 6.22% 15AUG27	6.22	3,523	4,133	470,980	2027/8/15
		HYDROQUEBEC 8.05% 07JUL24	8.05	2,000	2,441	278,222	2024/7/7
		HYDROQUEBEC 8.25% 15JAN27	8.25	2,000	2,542	289,664	2027/1/15
		HYDROQUEBEC 9.375% 15APR30	9.375	4,700	6,931	789,801	2030/4/15
		IADB 7.00% 15JUN25	7.0	1,000	1,197	136,408	2025/6/15
	IBRD 7.625% 19JAN23	7.625	23,400	27,410	3,123,181	2023/1/19	
	普通社債券 (含む投資法人債)	APPLE 4.65% 23FEB46	4.65	3,000	3,142	358,021	2046/2/23
		BELLS TEL 7.00% 01OCT25	7.0	1,300	1,460	166,438	2025/10/1
		BELLSOUTH 6.00% 15NOV34	6.0	2,610	2,641	301,026	2034/11/15
		GOLDMAN S 5.95% 15JAN27	5.95	750	808	92,100	2027/1/15
		MICHIGAN B 7.85% 15JAN22	7.85	1,200	1,339	152,679	2022/1/15
MICROSOFT INC 5.3% 08FEB41		5.3	8,000	9,224	1,051,002	2041/2/8	
POSCO 5.25% 14APR21		5.25	2,500	2,576	293,509	2021/4/14	
小	計				18,188,052		
カナダ			千カナダドル	千カナダドル			
地方債証券	BR COLMBA 5.70% 18JUN29	5.7	400	492	42,514	2029/6/18	
	BR COLMBA 9.00% 23AUG24	9.0	2,863	3,782	326,544	2024/8/23	
	BR COLMBA 9.95% 15MAY21	9.95	2,270	2,670	230,600	2021/5/15	
	BR COLUMBIA 6.35% 18JUN31	6.35	12,200	16,247	1,402,838	2031/6/18	
	ONTARIO 7.60% 02JUN27	7.6	3,000	4,004	345,768	2027/6/2	

銘	柄	当 期 末						
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日		
				外貨建金額	邦貨換算金額			
カナダ		%	千カナダドル	千カナダドル	千円			
	地方債証券	ONTARIO 8.10% 08SEP23	8.1	2,000	2,458	212,292	2023/9/8	
		ONTARIO 9.50% 02JUN25	9.5	5,000	6,924	597,831	2025/6/2	
		ONTARIO 9.50% 13JUL22	9.5	136	167	14,423	2022/7/13	
		OTTAWA 4.60% 14JUL42	4.6	3,000	3,487	301,087	2042/7/14	
		QUEBEC 5.75% 01DEC36	5.75	11,605	15,455	1,334,451	2036/12/1	
		QUEBEC 9.375% 16JAN23	9.375	4,984	6,254	540,002	2023/1/16	
		SASKATCHWN 4.75% 01JUN40	4.75	2,000	2,420	208,949	2040/6/1	
		SASKATCHWN 8.75% 30MAY25	8.75	5,000	6,673	576,159	2025/5/30	
		SASKATCHWN 9.60% 04FEB22	9.6	3,000	3,625	313,017	2022/2/4	
		TORONTO 4.70% 10JUN41	4.7	3,000	3,518	303,812	2041/6/10	
	特殊債券 (除く金融債)	HYDRO-QUEBEC 11% 15AUG20	11.0	8,200	9,386	810,412	2020/8/15	
		ONTARIO EL 10.125% 15OCT21	10.125	4,800	5,798	500,650	2021/10/15	
		ONTARIO EL 8.90% 18AUG22	8.9	2,000	2,424	209,305	2022/8/18	
		RES FRANCE 4.70% 01JUN35	4.7	5,500	6,247	539,385	2035/6/1	
小	計					8,810,049		
メキシコ				千メキシコペソ	千メキシコペソ			
	国債証券	MEXICO 10.00% 05DEC24	10.0	250,000	265,350	1,504,537	2024/12/5	
		MEXICO 5.00% 11DEC19	5.0	200,000	192,474	1,091,327	2019/12/11	
		MEXICO 6.50% 10JUN21	6.5	130,000	123,468	700,064	2021/6/10	
		MEXICO 7.75% 29MAY31	7.75	100,000	92,304	523,364	2031/5/29	
		MEXICO 8.50% 18NOV38	8.5	100,000	94,949	538,361	2038/11/18	
		MEXICO UDIIL 4.5% 04DEC25	4.5	10,000	62,523	354,508	2025/12/4	
		MEXICO UDIIL 4.5% 22NOV35	4.5	10,000	63,418	359,585	2035/11/22	
小	計					5,071,749		
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ			
	フランス	国債証券	FRANCE 5.75% 25OCT32	5.75	5,820	9,390	1,211,007	2032/10/25
	スペイン	国債証券	SPAIN 5.15% 31OCT44	5.15	13,950	20,726	2,672,942	2044/10/31
			SPAIN 5.9% 30JULY26	5.9	13,000	17,427	2,247,489	2026/7/30
小	計					6,131,439		
イギリス				千英ポンド	千英ポンド			
	国債証券	UK TRSY 3.50% 22JUL68	3.5	316	485	71,523	2068/7/22	
		UK TRSY 4.75% 07DEC38	4.75	2,000	2,961	436,539	2038/12/7	
		UK TRSY 6.0% 07DEC28	6.0	6,000	8,562	1,262,041	2028/12/7	
		UK TRSY 8.00% 07JUN21	8.0	150	177	26,138	2021/6/7	
		UK TRSY 4.25% 07JUN32	4.25	1,150	1,506	222,093	2032/6/7	
	特殊債券 (除く金融債)	EIB 5.375% 07JUN21	5.375	500	553	81,521	2021/6/7	
		EIB 5.625% 07JUN32	5.625	9,363	13,351	1,967,897	2032/6/7	
		EIB 6.00% 07DEC28	6.0	14,800	20,378	3,003,531	2028/12/7	
	普通社債券 (含む投資法人債)	ELEC D FR 6.125% 02JUN34	6.125	2,300	3,041	448,221	2034/6/2	
		ENELFI NV 5.625% 14AUG24	5.625	1,500	1,713	252,567	2024/8/14	
		FONTER GR 9.375% 04DEC23	9.375	1,000	1,342	197,826	2023/12/4	
		GATWICK FD 5.75% 23JAN37	5.75	2,000	2,622	386,574	2037/1/23	
		GDF SUEZ 6.125% 11FEB21	6.125	2,200	2,429	358,142	2021/2/11	

銘	柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
イギリス	普通社債券	INNOGY FIN 6.25% 03JUN30	6.25	1,500	1,943	286,393	2030/6/3
	(含む投資法人債券)	P&G 5.25% 19JAN33	5.25	1,500	2,000	294,861	2033/1/19
小	計					9,295,876	
ポーランド				千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
	国債証券	POLAND 5.75% 23SEP22	5.75	50,000	56,495	1,698,804	2022/9/23
		POLAND 5.75% 25APR29	5.75	82,000	100,154	3,011,654	2029/4/25
小	計					4,710,459	
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	国債証券	AUSTRALIA 3.00% 21MAR47	3.0	500	476	39,173	2047/3/21
		AUSTRALIA 3.75% 21APR37	3.75	1,000	1,093	90,003	2037/4/21
	地方債証券	NEW S WLS 6.00% 01MAY30	6.0	34,748	43,803	3,604,573	2030/5/1
		ONTARIO 6.25% 29SEP20	6.25	500	534	43,963	2020/9/29
		QUEENSLAND 6.50% 14MAR33	6.5	40,000	53,880	4,433,785	2033/3/14
		VICTORIA TCV 5.50% 17NOV26	5.5	15,000	17,785	1,463,535	2026/11/17
特殊債券 (除く金融債)	IBRD 5.00% 07MAR22	5.0	500	538	44,350	2022/3/7	
	KOMMUNAL BK 6.50% 12ARP21	6.5	1,000	1,094	90,061	2021/4/12	
小	計					9,809,446	
ニュージーランド				千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル		
	国債証券	NEW ZEALAND 3.0% 20APR29	3.0	20,000	20,348	1,561,523	2029/4/20
		NEW ZEALAND 3.5% 14APR33	3.5	20,000	21,236	1,629,672	2033/4/14
		NEW ZEALAND 2.75% 15APR37	2.75	8,500	8,073	619,527	2037/4/15
		NEW ZEALND 5.50% 15APR23	5.5	200	227	17,473	2023/4/15
		NEW ZEALND 6.00% 15MAY21	6.0	187	205	15,753	2021/5/15
	地方債証券	NZ LGFA 2.75% 15APR25	2.75	8,150	7,919	607,759	2025/4/15
		NZ LGFA 4.50% 15APR27	4.5	35,000	37,403	2,870,362	2027/4/15
NZ LGFA 5.50% 15APR23		5.5	33,500	37,199	2,854,715	2023/4/15	
		NZ LGFA 6.00% 15MAY21	6.0	13,500	14,662	1,125,188	2021/5/15
小	計					11,301,976	
合	計					73,319,049	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2018年11月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	73,319,049	95.0
コール・ローン等、その他	3,827,632	5.0
投資信託財産総額	77,146,681	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(74,955,505千円)の投資信託財産総額(77,146,681千円)に対する比率は97.2%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=113.94円、1カナダドル=86.34円、1メキシコペソ=5.67円、1ユーロ=128.96円、1英ポンド=147.39円、1ポーランドズロチ=30.07円、1オーストラリアドル=82.29円、1ニュージーランドドル=76.74円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年11月12日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	158,001,443,205
コール・ローン等	898,765,247
公社債(評価額)	73,319,049,035
未収入金	82,596,410,695
未収利息	1,093,962,514
前払費用	93,255,714
(B) 負債	83,837,480,291
未払金	83,646,468,599
未払解約金	191,009,545
未払利息	2,147
(C) 純資産総額(A-B)	74,163,962,914
元本	67,909,355,323
次期繰越損益金	6,254,607,591
(D) 受益権総口数	67,909,355,323口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,921円

(注1) 期首元本額 92,083,738,656円

期中追加設定元本額 3,849,325,096円

期中一部解約元本額 28,023,708,429円

(注2) 期末における元本の内訳

BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド(毎月決算型)

54,376,676,459円

BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド(1年決算型)

13,532,678,864円

○損益の状況 (2017年11月11日~2018年11月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	4,528,117,636
受取利息	4,526,258,754
その他収益金	2,210,850
支払利息	△ 351,968
(B) 有価証券売買損益	△ 7,097,206,359
売買益	8,716,624,363
売買損	△15,813,830,722
(C) 保管費用等	△ 34,101,954
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,603,190,677
(E) 前期繰越損益金	11,362,846,619
(F) 追加信託差損益金	404,781,929
(G) 解約差損益金	△ 2,909,830,280
(H) 計(D+E+F+G)	6,254,607,591
次期繰越損益金(H)	6,254,607,591

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。